



一人一人の子どもを徹底的に大切にする

京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、
次代と自らの未来を創造する子ども」

重視する視点

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を教育活動の中で高める

九条中ブロック小中一貫教育大目標

「21世紀をたくましく生き抜く力の育成」

重点目標

九条中ブロックのベクトルをそろえ、校種を超えた一貫性のある教育活動の更なる推進につなげる

【学校教育目標】

「心豊かにたくましく 夢や希望に向かう子どもの育成」

～ つながろう つなげよう 九条塔南の子 ～

【目指す学校像】

一人一人の子どもが徹底的に大切にされる学校

○元気と笑顔があふれる学校

○学びあい認めあい励ましあう学校

○家庭・地域と子どもを育む学校

【目指す子ども像】

気づき、考え、実行する子ども

知「確かな学力」
★よく見て
よく聞いて
よく考える子★

徳「豊かな心」
★友達を
自分と同じように
大切にする子★

体「健やかな体」
★体や心を鍛え
命を大切にする子★

自ら学ぶ力

育てたい資質・能力

自ら律する力

・つながるための
・つながりをひろげる
・つなげるための

柔軟性
課題発見力
主体性

社会性
実行力
調整力

(心豊かに)
(たくましく)
(夢や希望に向かう)

九条塔南小の5つの「あ」

あいさつ
あんぜん
あとしまつ
ありがとう
あったかく

【目指す教職員像】

信頼できる大人としての
モデルを示すことのできる教職員

○愛情をもち、しっかりと子どもと向き合う教職員

○柔軟性をもち、指導力の向上に努める教職員

○情熱をもち、「子どもたちのために」努める教職員

子どもに指導することを実践
(言葉遣い、行動、人権意識
自ら学ぶ・自ら律する…)

↑
教職員の姿は
最大の教育環境

【目指す教職員像】

- 愛情をもち、しっかりと子どもと向き合う教職員
 - ・豊かな感性、鋭い人権感覚、温かな人間性
 - ・「笑顔」「子どもに寄り添う」「やさしい声かけ」「温かい眼差し」(厳しい指導からカウンセリングマインドで)
 - ・子ども一人一人を見つめ、子どものよさや可能性を引き出す
- 柔軟性をもち、指導力の向上に努める教職員
 - ・学習課題(めあて・目標)に応じた「まとめ」と「ふりかえり」の45分間の授業の構築徹底
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善(GIGA端末活用場面の精選)
- 情熱をもち、子どもたちのために努力する教職員
 - ・学校教育目標・目指す子ども像の実現、資質能力の育成に向け、日々の実践に努める
 - ・研修履歴を活用し、教員としての力量を高めるための自己研鑽を図る
 - ・研修支援サポーター制度を活用し、若手教員研修を充実させる
 - ・「学級担任」から「学年担任」としての意識をもち、学年体制で取り組む(専科指導・交換授業)
 - ・全校的な組織体制で、子どもや家庭に対する支援、取組を推進する(学年主任・分掌主任を中心に)

■重点的な取組

九条塔南小 教職員・児童の「5つのあ」

『あいさつ・あんぜん・あとかたづけ・ありがとう・あったかく』

人・命・もの・自然・・・あらゆるものにやさしさと感謝の気持ちを持ち、「つなぐ」「つながる」



★人権尊重の精神と人権感覚の育成

- 子どもの人権を徹底的に尊重する(全教職員での見守り・指導)
- 子どもの人権意識を高め、個を大切にしたいよりよい集団の育成を図る(授業・学級経営・学校行事)
- 集団の中で個性を伸ばし、達成感を味わわせる(特別活動の充実)

★不登校児童への対策・対応

- 不登校児童への支援・学力保障、家庭との連携(ICTの活用等)
- 校内支援体制の確立(SC・SSWとの連携、不登校対策委員会、ケース会議での情報共有)
- 関係諸機関との連携(児相・不登校支援センター・ふれあいの杜)

★教育相談の充実

- 虐待・ネグレクト等、困りを抱えた児童・支援を要する家庭への見守り・対応(関係諸機関との連携)
- 困りを抱えた子ども・家庭への早期対応(見逃しのない指導)
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携(ケース会議の充実)
- 全校体制での組織的な対応(学年主任→分掌主任→管理職)

★総合育成支援教育の推進

- 育成学級、通級指導教室、在籍・通級児童についての理解と認め合う集団づくり(交流学习・よさを見つける)
- 普通学級に在籍する発達障害のある子どもに対する指導の充実(個別の指導計画に基づいた確実な指導)
- ことばときこえの教室、LD 通級教室との連携

★体験活動の充実(各教科・総合的な学習・宿泊行事等)

- 自分とまわりすべてのものとの「つながり感覚」を育む

- ・地域をはじめ、様々な人々との交流を通して、地域や人のよさに気づかせる
- ・新しい発見や出会いを通して感動する心を育む
- ・体験したことをもとに、自分にできること、やろうと思うことを実践する力を育てる。

★指導体制・取組の推進

- 協力指導体制の推進（学習支援・専科学習・学年間での交換授業等）
- 帯時間の活用・・・全クラスで1年間やりきる（毎日の積み重ね×6年間）
- 学校教育目標・目指す子ども像と行事・取組の連動（ねらいの明確化とふりかえり・評価）
 - ・学校教育目標・子ども像・つけたい資質・能力を提案文書に明記 ⇒ 教職員のベクトル共有・意識付け

★環境整備

- どの子どもにとっても過ごしやすい環境の整備（支援の必要な児童への配慮）
 - ・ユニバーサルデザインを意識した教室環境づくり（教室の整理整頓・教室前面掲示の簡素化など）
 - ・教職員・子どもが整理整頓を常に心がける
 - ・めあて まとめ 等のフラッシュカードを全学級で統一し、どの学級でも同じ指導をしていることを視覚化する
- 安心・安全で過ごしやすい学校
 - ・言語環境、人的環境も含めたプロジェクトに（きれいな言葉、きれいな心・・・）
 - ・自分と他者とのつながり意識をもつ（靴・スリッパ、あとしまつ・・・）
 - ・廊下、窓側の棚には物を置かない（事故防止・リスクマネジメント）
 - ・職員室の整理整頓、快適で使いやすく

★学校、家庭、地域のそれぞれの役割を明確にした連携の強化

- 学級懇談会・家庭教育学級→対策をとりつつできる限り実施
- 子どもの様子・行事の様子を発信（各学年HP<週2>・学年だよりからHPへの移行）
- 学校の責任を明確にした各種プリントの発行
 - 「×来週、遠足があります ○来週、遠足を実施します」
 - 「×・・・を持って帰ります ○・・・を持ち帰らせます」 等・・・
- 新連絡ツール「スクリレ」を活用した、学校からの発信の強化⇒働き方改革につなげる
- PTA活動の整理（これまでの活動の見直し）
- 学校運営協議会の取組の推進、運営の組織化（社会に開かれた教育課程）
- 学校評価システムの活用

★「働き方改革」の推進

- 見通しをもち、計画的、効果的、効率的な業務（人と時間のマネジメント）
- 心身ともに健康で充実した生活が子どもにかえる（教育の質を高める）

★校種間連携・接続の推進

- ①九条中ブロック小中一貫教育の推進
 - 学力向上・生徒指導を中心とした連携（3校合同研修・各部会）
 - ・「九条学習プラン」「九条生活プラン」の見直しと活用
 - 9年間を見通した学習・生徒指導の推進と学びの環境づくり
 - 児童・生徒の交流（中学校体験等）
- ②保育園・児童館との連携（塔南保育園・南保育所・塔南の園児童館）
 - 教育活動における連携（保小交流、保育士体験、生活科、総合的な学習、半日入学、図工展他）
 - 支援の必要な児童・家庭の情報共有（就学支援シートの活用、随時連絡）

★「生徒指導提要」の改定

- 「させる」生徒指導から「支える」生徒指導へ
- 心身ともに健康で充実した生活が子どもにかえる（教育の質を高める）